

## 伊賀市スポーツ振興計画の総括

### 1 伊賀市スポーツ振興計画について

本市では、~~合併後2年が経過した~~平成 19 年 3 月に「伊賀市スポーツ振興計画」を策定し、「だれもが気軽に楽しみ、元気をはぐくむスポーツ振興」を基本理念とし、~~市民の元気をはぐくむ生涯スポーツの実現を目指し、~~以下の 3 つの基本目標を掲げて、平成 19 年度から平成 28 年度まで、計画を推進してきました。

- (1) スポーツのある豊かな暮らしを支える環境づくり
- (2) 健全な心身をはぐくみ、活力を生む生涯スポーツの推進
- (3) 互いの力を高め合う競技スポーツの振興

~~の3つを~~基本目標に応じたとし、基本施策、施策項目を設定しながら各分野において取組を行い、一定の成果を得ることができました。

### 2 各種取組の成果

#### (1) スポーツのある豊かな暮らしを支える環境づくり

##### ① 推進体制の強化・充実

■ 「生涯スポーツ都市宣言」の制定 ~~<2017（平成29）年3月8日告示>~~

~~2018（平成30）年には「2018 彩る感動東海総体」（平成30年度全国高等学校総合体育大会）、2021（平成33）年には「三重とこわか国体」（第76回国民体育大会）が伊賀市で開催されることを契機として、平成29年3月8日に生涯スポーツ都市宣言を行いました。~~内容については下記のとおりです。

~~市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ都市の実現に向けて、スポーツの持つ可能性を最大限に活かし、生涯にわたってスポーツを「する」、「見る」、「支える」ことで、人と人とのつながりを育み、健康で明るい伊賀市を目指します。~~

#### 伊賀市生涯スポーツ都市宣言

スポーツは、心と体の健康を育むとともに、人と人との交流を深め、明るく活力に満ちた生きがいのある生活を送るうえで重要な役割を果たしています。私たち市民一人ひとりが、生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で明るいまちづくりを推進するため、ここに「生涯スポーツ都市」を宣言します。

- スポーツに親しみ 健康な心身をつくれます
- スポーツを楽しみ 思いやりとふれあいの輪を広げます
- スポーツを通して 明るく活力ある伊賀市をつくれます

書式変更：インデント：左 5.4 字、最初の行：1.17 字

■ 地域スポーツクラブの育成支援

【総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援】

~~市では総合型地域スポーツクラブ設立・運営支援は、クラブ設立・運営・活動の支援を図るため、総合型地域スポーツクラブ活動支援事業補助金を立ち上げ支援期間を準備支援1年、運営支援2年の3年とし、平成19年度から平成24年度までに、市内8.9クラブの支援を行いました。(クラブ数の推移については下表のとおり。)~~

~~その結果、平成19年度に市内4クラブであったのが、平成21年度には9クラブとなり、現在7クラブが活動を行っています。~~

~~また、クラブ市内の総合型地域スポーツクラブが連携し、円滑な運営と活動の活発化を図るためにことを目的とした連絡協議会を設立させ、今後のクラブのあり方や運営上の問題点などを中心に意見交換を行ってあります。平成28年度からは、市内全域をあらゆる世代を対象とした健康増進を含め、スポーツに親しむ人々の拡大を図ることを目的に伊賀市スポーツ教室事業をクラブに委託しています。受託して、既存のクラブのエリア拡大に向けた取り組みも行っています。~~

☆10年間の主な取り組み

- ~~・市民が身近な地域で年齢や技術に関係なく、いつでも誰でも参加できる自主的なクラブづくりのための設立支援を行いました。~~
- ~~・スポーツクラブの組織強化のための活動支援を行いました。~~
- ~~・クラブの組織強化やクラブ間の連携した取組のための意見交換会が行われました。~~
- ~~・クラブの知名度アップ、市民のスポーツ機会の拡大のための市ホームページや行政チャンネルなどによりPRしました。~~

書式変更：インデント：左 0 字，最初の行：5.9 字

総合型地域スポーツクラブの変遷

年度	クラブ数	変遷等
平成19年度	4	上野東部スポーツクラブ、府中スポーツクラブ、ゆめが丘クラブ、かんべスポーツクラブ
平成20年度	7	猪田らくらくクラブ、中瀬スポーツクラブ、いがまちスポーツクラブを追加
平成21年度	9	伊賀フューチャーズクラブ、おおやまだスポーツクラブを追加
平成27年度	7	上野東部スポーツクラブ、中瀬スポーツクラブ解散
平成28年度	7	

【スポーツマネジメント人材育成】

総合型地域スポーツクラブの育成に有資格者としてクラブ会員が継続

的に快適なクラブライフを送ることができるよう、~~健全なマネジメントを行~~うためのクラブマネージャー3名を養成することができました。

#### 【地区体育推進委員の設置】

地区体育推進委員の役割は、各地区住民自治協議会からの推薦のあったスポーツ推進委員が担うこととし、研修やイベントに参画した経験を活かして、地域のスポーツ諸行事に対する指導及び助言を行っていただきました。その結果、総合型地域スポーツクラブの新規立ち上げに支援いただくなど、地域のスポーツコミュニティの形成に寄与することができました。

### ■ スポーツ団体等の育成支援

#### 【スポーツ団体等の育成支援】

~~伊賀市~~体育協会、~~伊賀市~~スポーツ少年団及び~~伊賀市~~レクリエーション協会等の支援を行ってきました。各組織の概略は下記のとおりです。~~いるところですが、現在、事務局を行政が持っており、幾度か事務局移行施策を講じましたが、自主活動組織に移行することはできませんでした。~~

#### ☆伊賀市体育協会

伊賀市体育協会は市における体育・スポーツの普及・振興とアマチュアスポーツ団体の競技力向上を通じて、市民の健全な心身の発達と体力の向上を図り、明るく、健やかで豊かな市民生活の構築に寄与することを目的に、青少年育成強化事業、強化指定選手・団体認定強化事業、スポーツ指導者研修会、体協広報誌「スポーツ忍」の発刊事業及びスポーツ優秀選手等の表彰事業を行っています。

また、平成28年3月には10周年記念誌を発刊し、平成29年3月現在の加盟団体は、種目競技団体25団体、地域団体3団体の28団体となっています。

#### ☆伊賀市スポーツ少年団

伊賀市スポーツ少年団は、スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活発化を図り、青少年にスポーツを振興し、青少年の心身の健全な育成を図るに資することを目的に各スポーツ少年団の育成指導、援助事業、スポーツ少年団指導者及びリーダーの養成事業、スポーツ少年団の交流事業として活動の支援を行うとともに、



団員・リーダー及び指導者が交流活動を通じて相互の親睦と友情を深めるスポーツ少年大会、ミニ駅伝大会、スケート交流会などを行ってきました。

書式変更：標準、インデント：最初の行  
： 0 mm, 左 3.99 字

書式変更：標準、インデント：ぶら下げインデント： 2 字, 左 3.99 字, 最初の行： -2 字

書式変更：フォント：12 pt

書式変更：標準、インデント：最初の行  
： 0 mm, 左 3.99 字

また、交流を通じて友好親善を深めるドイツスポーツ少年団との交流会も平成23年・26年に行い、平成26年8月には、10周年記念誌“夢に向かって”を発刊しました。平成29年3月時点の加盟団は49団となっています。

#### ☆伊賀市レクリエーション協会

伊賀市レクリエーション協会は地域住民の余暇活動を充実させるため、レクリエーションの総合的な普及振興及びレクリエーションに関する活動を行う他の団体に対する支援を行い、地域住民の心身の健全な発達と、明るく豊かな地域生活の形成に資することを目的として、ミニ運動会、指導者の派遣事業、出前レクリエーション事業及び市民スポーツフェスティバルの協力事業を実施しています。29年3月時点で6団体、個人3人が加盟しています。

スポーツ団体育成資金（体育協会・スポーツ少年団）の推移

年度	体育協会（千円）	スポーツ少年団（千円）
平成19年度	7,500	3,500
平成20年度	7,500	3,500
平成21年度	7,000	3,500
平成22年度	6,600	3,500
平成23年度	6,100	3,500
平成24年度	6,100	3,500
平成25年度	6,100	3,500
平成26年度	6,100	3,500
平成27年度	6,100	3,500
平成28年度	6,000	3,450

#### ☆伊賀市体育協会と伊賀市スポーツ少年団事務局移管の取組

団体事務局の自主運営に向けて平成21年度からふるさと雇用再生特別基金交付金を利用し2名の事務職員を雇用し、制度が終了する平成23年度中に移行できるよう準備を進めましたが、団体の自主運営的な事務局設置には組織の自主財源の確保が課題であり、財政基盤安定のため、5年以内に指定管理等が受けられる組織（法人化）への移行充実を計画図ることとしましたが、実現に至りませんでした。

#### 【体育協会一本化の促進】

~~伊賀市体育協会は、伊賀市における体育・スポーツの普及・振興とアマチュアスポーツ団体の競技力向上を通じて、市民の健全な心身の発達と体力の向上を図り、明るく、健やかで豊かな市民生活の構築に寄与することを目的に事業展開を行ってきました。~~

平成 23 年 5 月 13 日に単位種目協会と支部体育協会の一本化が図られ支部制を廃止しました。各地区の体育協会は、地域賛同組織として体育協会の加盟組織となりました。~~ついでにいただいています。~~

~~平成 28 年 3 月には、10 周年記念誌を発刊、平成 29 年 3 月時点の加盟団体は 29 団体となっています。~~

#### 【スポーツボランティアの組織化】

~~各種大会を中心にボランティアスタッフの発掘を行うため~~「みえのスポーツ応援隊」のノウハウを活かしながら当市のボランティアの組織化を図りましたが、参加希望者が極めて少ないことから組織化には至りませんでした。

書式変更：インデント：左 6.07 字、  
最初の行：1.18 字

### ② 指導者の育成・確保

#### ■ 資質向上の研修機会の充実

##### 【各種講習会・研修会の開催】

~~各種指導者研修会をとしての資質向上を図るため開催いたしました。~~

##### スポーツ指導者講習会・研修会の推移

年度	回数(回)	参加者数(人)
平成 19 年度	1	46
平成 20 年度	2	88
平成 21 年度	2	93
平成 22 年度	2	95
平成 23 年度	2	107
平成 24 年度	2	70
平成 25 年度	2	81
平成 26 年度	5	99
平成 27 年度	5	137
平成 28 年度	2	44

#### ■ スポーツ指導者の確保

##### 【一般市民向けの講習会・研修会の開催】

スポーツ指導者を養成する旨指した一般市民向けの講習会・研修会は、

~~未開催。の開催は行いませんでした。~~

【女性指導者の養成】

~~女性職員配置の機会に、平成 25 年にスポーツ推進委員女子会を組織しましたが、形成し指導者養成には至っていません。ついで意見交換会が行われましたが、増加傾向に転じていません。~~

スポーツ推進委員の女性委員の変遷

年度	委員数(人)	女性割合 (%)
平成 19 年度	20	25
平成 20 年度	19	24
平成 21 年度	16	20
平成 22 年度	16	20
平成 23 年度	13	17
平成 24 年度	13	16
平成 25 年度	9	11
平成 26 年度	9	11
平成 27 年度	13	17
平成 28 年度	13	17

【広報誌等による指導活動の周知】

スポーツ指導者の活動周知は~~未実施。行いませんでした。~~

【スポーツ推進委員数の適正配置】

スポーツ推進委員数

年度	委嘱数 (定員数)
平成 19-20 年度	79 人 (82 人)
平成 21-22 年度	79 人 (82 人)
平成 23-24 年度	79-80 人 (82 人)
平成 25-26 年度	79 人 (82 人)
平成 27-28 年度	78 人 (82 人)

スポーツ推進委員は、実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言、事業の企画立案や連絡調整、地域住民や、行政及びスポーツ団体等の間を円滑に取り持つ等のコーディネーターとして、地域スポーツ推進の中核

的な役割を担っています。

本市では、「スポーツ基本法」第 32 条第 2 項に基づき、「伊賀市スポーツ推進委員に関する規則」を定め、現在 78 名のスポーツ推進委員を委嘱し、伊賀市スポーツ推進委員協議会を設立しています。

市民一人に 1 スポーツの実践を基本方針とし、「地域体育組織等の育成と充実」、「指導力の向上」、「スポーツ行事の企画・実践」、「スポーツ活動場所の有効利用」、「スポーツ活動における安全と事故防止」の 5 つを活動方針に定め、各種講習会や研修会へ参加し自己研鑽を通して専門性の向上に努め、地域スポーツ活動の推進を図っています。

また、障がい者スポーツ推進のため、平成 27 年度から伊賀市障害者スポーツ大会への協力を行っています。

#### ■ 指導者登録制度の整備

##### 【伊賀市スポーツ指導者協議会の支援】

伊賀市スポーツ指導者協議会に対しては、~~伊賀市体育協会から年間 5 万円の助成金が交付されています。~~指導者の資質や指導技術の向上のための研修会費用及び後述のするスポーツリーダーバンクの運営を行っています。~~における登録証の作成費用等に充てられています。~~

##### 【指導者バンクの設立】

伊賀市スポーツ指導者協議会はにおいて、スポーツリーダーバンクをが平成 23 年 7 月 22 日に設立し、指導者相互の連携と適切な指導者派遣体制を構築しました。陸上競技においては、学校と総合型地域スポーツクラブとの連携が図れており、技術の高い選手の育成に努めた結果、全国大会に出場を果たする選手が出てきました。

スポーツリーダーバンク登録数の推移

年度	登録数（人）
平成 23 年度	23
平成 24 年度	20
平成 25 年度	22
平成 26 年度	22
平成 27 年度	22
平成 28 年度	15

#### ③ スポーツ施設の充実

##### ■ 市民ニーズに応じた施設の整備

#### 【中・高年向き施設の整備】

#### 【屋内多目的施設の整備】

屋内多目的施設「しらすぎ運動公園多目的グラウンド」を平成 27 年 6 月 からより供用を開始しました。ゲートボールのコート を 9 面 を 常設し、グラウンド・ゴルフ 、 や テニス 及 び 等、各種競技 の や イベントも開催できる施設 と なっています。 い たしました。



#### 【運動公園の整備】

平成 25 年度スポーツ宝くじ助成金 で に よ り、上野運動公園野球場のダックアウト、外野フェンス 及 び、ファウルポールの整備を行いました。引き続き 26 年度にスコアボードの電光掲示板改修工事を行いました。

平成 25 年度からの“なでしこリーグ”全試合有料化のため、上野運動公園競 — 技場の外壁改修工事、スタンド 2 階貴賓室改修工事、更衣室と倉庫の新設 及 び トイレの増設をしました。

#### 【既存施設のバリアフリー改修】

上野運動公園競技場観客席に、車椅子来場者が観戦できるようにスロープを新設し、車椅子専用スペースを設置しました。多機能トイレ設置を上野運動公園競技場とゆめが丘多目的広場に新設しました。

#### 【類似施設の統廃合や機能分担の検討】

平成 25 年 6 月に「公共施設白書」 で に よ り 課題を明らかにし、平成 26 年 3 月に は 「公共施設最適化方針」に お い て 全市的な目標を設定し、伊賀市公共施設マネジメントの 3 原則 (R) の 考 えに基づき取り組むこととし、平成 27 年 3 月に「公共施設最適化計画」を策定し実行計画を立案しました。類似施設の統廃合や機能分担の検討についてもこの最適化計画に基づき、用途別の総量目標や地区別の複合化を検討しながら、住民説明会等を行っているところです。



■ 市内スポーツ施設の有効活用

【学校施設開放】

~~教育委員会により、毎年1回校長会で説明を行い、住民に対し学校施設を開放しています。~~

~~各学校単位で学校施設開放運営協議会を任意で形成し使用上のルール等の確認を行っていただいています。学校施設の体育館及びグラウンドの施設開放を実施しています。(余剰教室の活用や開放施設の延長の検討は未実施。)していません。~~

学校施設開放事業実績

			学校数	日数	回数	人数
25年度	小	25	屋内	4,246	4,451	75,568
			屋外	3,001	3,332	117,798
	中	10	屋内	1,967	2,393	38,516
			屋外	394	398	8,597
26年度	小	25	屋内	3,794	4,661	83,566
			屋外	2,697	3,105	103,952
	中	10	屋内	1,701	2,186	37,325
			屋外	324	348	8,596
27年度	小	22	屋内	3,821	4,859	99,596
			屋外	2,602	3,024	95,327
	中	10	屋内	1,783	2,296	41,143
			屋外	596	691	14,066

※日数、回数、人数については延べ数

【民間スポーツ施設の有効利用】

~~民間へ任せるといったスポーツ指導等の検討については、夏期水泳教室が該当していたことから平成27年度で終了とし、民間スポーツクラブを紹介させていただくこととなりました。また、ゆめドームうえので開催しているフィットネス教室のインストラクターを地元民間業者に委託し、民間スポーツ施設の利用のきっかけとなるような動機付けを行いました。民間スポーツ施設の有効利用については、スポーツ少年団の交流事業で民間スケート場を利用しています。~~

## ■ 効率的な施設の管理運営

### 【指定管理者制度による施設の管理運営】

34 体育施設のうち、23 施設を公益財団法人伊賀市文化都市協会に、2 施設を阿波地域住民自治協議会に、1 施設を特定非営利活動法人いがまちスポーツクラブに指定管理者として管理を委託しています。

### 【類似施設の統廃合や機能分担の検討】

~~市民ニーズに応じた施設整備で掲載しています。平成27年度に策定された「公共施設最適化計画」で検討されています。~~

### 【利用料金の適正化】

社会情勢の変化や利用状況を踏まえ適正化を図ってきました。

## ■ 施設の利便性の向上

### 【インターネット予約システムの構築】

~~検討はしておりますが、公共施設全体の施設予約のあり方や利用料金決済方法等が多岐に及ぶことや導入経費、維持管理経費が掛かることなどから、未実施。導入には至っていません。~~

### 【ポスターの掲示やチラシの配布】

各施設にポスター掲示とのぼりの設置、イベントチラシの配布をしています。

## ④ 情報提供の充実

### ■ 的確なスポーツ情報の提供

#### 【広報紙等への情報の掲載】

【インターネット、ケーブルテレビによる情報発信】

スポーツ大会等の参加者募集や啓発は、広報いが市、伊賀市ホームページ（SNS）、行政チャンネルにより積極的に行いました。~~その結果、スポーツイベント等を通じて家族や地域に一体感を醸成することができました。~~



### ■ スポーツ相談活動の充実

#### 【スポーツ相談窓口の開設】

スポーツ相談については、E-mail や電話の問い合わせが大半を占めています。~~ので、専門知識者を有する窓口は未開設。開設していません。~~

書式変更：フォント：12 pt

書式変更：両端揃え

⑤ 表彰・奨励の充実

■ 指導者やボランティアの表彰

【指導者やボランティア表彰】

指導者等の表彰は、国、~~県~~へ申請する生涯スポーツ功労者・~~及び生涯スポーツ優良団体等表彰~~、~~県へ申請する地域スポーツ推進特別功労者・功労者表彰~~と体育協会で年1回評議員会後に開催される功労者表彰があります。ボランティア表彰は~~未実施。行っていません。~~



【広報紙等による功労者の周知】

体育協会功労被表彰者の周知は、~~体育協会広報誌「スポーツ忍」に掲載している他、~~いが地域スポーツ情報誌「Future」に掲載いただいています。

■ 優秀選手や団体への表彰・奨励

【優秀選手や団体への表彰・奨励】

【国際大会、全国大会等に出場する選手や団体への支援】

~~スポーツを行う目的は多様化しています。スポーツ技術が上達することはスポーツの楽しさや内容を理解し、スポーツを続ける大きな要因となります。このため、スポーツ競技団体等との連携、各種スポーツ大会等の開催、表彰など、競技スポーツ及び市民の個々のレベルに応じたスポーツにおける技術力の向上を図りました。~~

スポーツ活動の一層の振興を図るため、国際大会、全国大会等に出場する選手や団体への支援~~を~~は、伊賀市奨励金制度~~及び~~と伊賀市体育協会派遣費交付制度~~に基づき実施しました。~~があり、年々申請者が増加しています。

優秀選手や団体への表彰（スポーツ奨励賞、スポーツ功労賞、スポーツ栄誉賞）は毎年1回体育協会評議員会~~で~~により行われます。スポーツの競技会において優秀な成績を収めた人・団体又はスポーツの発展に寄与した人・団体に対しその栄誉を讃え、功績を顕彰することで、スポーツ活動でのモチベーションを高めるための~~一助~~実施ととしています。



伊賀市体育協会表彰受賞者の推移

平成19年度	スポーツ栄誉賞	西田 晃	陸上競技
	スポーツ功労賞	松本 賢太	陸上競技
		福岡 幹男	サッカー
		山本 文彦	
		中 芳彦	
		服部 智秀	
		伊賀フットボールクラブくノ一	
		福沢 義昭	柔道
		泉 真衣	弓道
		片岡 裕子	
		西川 重保	サイクリング
		T C半蔵	綱引
		猪田ワイルドボアーズ	
		田中 栄一	グラウンド・ゴルフ
		廣岡 健夫	
		スポーツ奨励賞	岩瀬 翔子
	井上 翔太		
	上野工業高等学校陸上競技部		
	伊賀フットボールクラブ フロイライン		サッカー
	KMEW伊賀F C		
	F C上野		
	上野工業高等学校サッカー部		
	伊賀フットボールクラブ ジュニアユース		
	上野東サッカースポーツ少年団		弓道
	藤井 孝行		
	近藤 朱梨		テニス
	岡沢 秀治・智也子 組		
ウーミン (男子)	卓球		
ウーミン (女子)			
岩瀬 梨沙子	中体連		

		坪香 吉宣	ボウリング	
		たかはたヒーローズ	綱引	
		塚本 道子	水泳	
		伊達 春江		
平成20年度	スポーツ功労賞	峰 達矢	陸上競技	
		伊賀フットボールクラブくノ一	サッカー	
		村岡 伝一		
		対馬 浩美	空手道	
		濱田 富重	ゲートボール	
		たかはたヒーローズ (女子)	綱引	
		スポーツ奨励賞	上野工業高等学校陸上競技部	陸上競技
	上野JFC		サッカー	
	神谷 鷹史		柔道	
	北岡 京			
	宮田 和樹			
	西口 知秀		弓道	
	旭ダイヤ三重		野球	
	佐山 天亮		ボウリング	
	Eフォース		ゲートボール	
	猪田ワイルドボアーズ・ユース		綱引	
	たかはたヒーローズ (男子)			
	平成21年度		スポーツ功労賞	前川 安平
		小松 優希		サッカー
作元 芙美佳				
倉下 義巳				
河野 千春・張巍		卓球		
前川 款昭		綱引		
増本 邦雄		ターゲットバード ゴルフ		
スポーツ奨励賞		上野工業高等学校陸上競技部	陸上競技	
		府中サッカースポーツクラブ	サッカー	
		FC中瀬サッカー		
		スポーツ少年団		
		IFCうりぼうレディース		
		伊賀フットボールクラブ		
		ジュニアユース		

		KMEW伊賀FC	
		伊賀フットボールクラブ フロイライン	
		伊賀フットボールクラブくノ一	
		伊賀市役所サッカー部	
		長田チアフル	バレーボール
		橋本 昌幸	ボウリング
		藤岡 一年	グラウンド・ゴルフ
		宮本 璃和	水泳
平成22年度	スポーツ功労賞	伊賀市役所サッカー部	サッカー
		伊賀フットボールクラブ フロイライン	
		神谷 直	
		北岡 京	
		奥田 智裕	弓道
		奥田 佳和	
		片岡 裕子	
	J O Y	バレーボール	
	スポーツ奨励賞	伊賀フットボールクラブくノ一	サッカー
		西岡 竹治	
		伊川 徹	弓道
		福森 重俊	
		藤井 孝行	
		安永弓道部	
吉田 益夫		ソフトボール	
平成23年度	スポーツ功労賞	前田 洋	サッカー
		中出 ひかり	
		乃一 綾	
		谷本 保邦	グラウンド・ゴルフ
		安永弓道部	弓道
		奥田 佳和	
		北岡 央	柔道
		服部 裕希	
		幹田 耕造	ソフトボール
	スポーツ奨励賞	伊賀サッカースクール	サッカー
		伊賀市役所サッカー部	

		伊賀FC		
		伊賀FCくノ一		
		FCアベニーダソルU-12		
		IFCうりぼう上野95'		
		サッカースポーツ少年団		
		上野東サッカースポーツ少年団		
		竹田 信弘		水泳
		葛原 豊晃		
		神谷 鷹史	柔道	
平成24年度	スポーツ栄誉賞	町野 英二	陸上競技	
		宮本 ともみ	サッカー	
	スポーツ功労賞	吉川 理香子	陸上競技	
		久野 吹雪	サッカー	
		川合 裕人		
		伊賀白鳳高等学校陸上競技部	陸上競技	
		伊賀フットボールクラブくノ一	サッカー	
	スポーツ奨励賞	伊賀市役所サッカー部	サッカー	
伊賀フットボールクラブ サテライト				
平成25年度	スポーツ功労賞	岸田 尚二	テニス	
		佐々山 秀男		
		伊賀白鳳高等学校陸上競技部	陸上競技	
		北寺 真弓	グラウンド・ゴルフ	
		田中 優妃	空手道	
		増田 吉彦	ソフトボール	
		伊賀フットボールクラブくノ一	サッカー	
		杉田 亜未		
		小坂 光三		
	スポーツ奨励賞	阿山中学校	中体連	
		田中 優有	空手道	
		ネッシーズ	ソフトボール	
		上野東サッカースポーツ少年団	サッカー	
		FCアベニーダソル		
		山崎 由加		
宮川 葉月				
高島 瑠璃子				

		富樫 香織	
		紙島 乃晏	
		福村 静花	
平成26年度	スポーツ功労賞	清水 大晟	陸上競技
		杉田 亜未	サッカー
		伊賀フットボールクラブくノ一	
		長岡 錬	テニス
		府中少年野球クラブ	野球
		玉石 美幸	卓球
		中尾 優子	
		勝矢 節義	グラウンド・ゴルフ
		服部 明	
	スポーツ奨励賞	FCアベニダソルU-12	サッカー
		伊賀フットボールクラブサテライト	
		西口 愛子	テニス
		福森 未来	野球
		浅生 佳徳	
		三田	
		伊賀小町	ゲートボール
平成27年度	スポーツ功労賞	伊賀フットボールクラブくノ一	サッカー
		杉田 亜未	
		畑中 美友香	
		尾田 緩奈	
		藤本 奈央	弓道
		泉 真衣	卓球
		辻 智貴	
		E・フォース	ゲートボール
		伊賀	
		北辻 勝嗣	野球
		藤田 建五	阿山地域体育協会
	スポーツ奨励賞	上野AC	陸上競技
		ゆめが丘陸上クラブ リレーチーム	
		松岡 大夢	
		FC.Avenidasol	サッカー
		伊賀FCジュニアユース	



	FCブランチ	
	阿山JVC	バレーボール
	友生・ふたば少年野球クラブ	野球
	伊賀上野東部	ゲートボール

【伊賀フットボールクラブくノへの支援】

運営に対する助成を行っています。伊賀市をホームタウンとして平成 28 年に創立 40 周年を迎えた同クラブには、全国でもトップクラスの選手が所属しています。こうしたチームが、なでしこリーグの公式戦を市内で行うことで、市民が身近で観戦できること、そしてスポーツへの親しみや、自らがスポーツを行うきっかけとなることが期待でき、トップスポーツの推進を通じて、スポーツを「観る人」を増やすことができました。

(2) 健全な心身を育み、活力を生む生涯スポーツの推進

① 楽しみ、親しむ機会の提供

■ 参加を促すプログラム及びイベントの充実

【スポーツ教室・講座等の開催】

平成 27 年度までは、住民が関心を引きそうな体操等の教室と子ども水泳教室を開催してきました。

スポーツ教室参加者の推移

	種目	参加者数(人)	種目	参加者数(人)
平成 24 年度	スロートレーニング	33	水泳	99
平成 25 年度	大人のラジオ体操	35	水泳	83
平成 26 年度	イーゾドゥダンササイズ	29	水泳	80
平成 27 年度	3 B 体操	21	水泳	83

平成 28 年度からは市民の誰もがスポーツに親しみ、心身の健全な発達と明るく豊かな生活を営むことを目的に、スポーツ教室の運営を行っています。多様化する市民のライフスタイルやスポーツニーズを把握し、地域住民のスポーツへの欲求を満たしすとともに地域スポーツ活動の発展に寄与することを目的に総合型地域スポーツクラブに業務委託しました。

委託先と教室種目

スポーツクラブ名	教室名	期日等
特定非営利活動法人	バドミントン教室	毎週月曜日

いがまちスポーツクラブ	6人制バレーボール教室	毎週火曜日・金曜日
	9人制バレーボール教室	毎週火曜日・金曜日
	ソフトバレーボール教室	毎週土曜日
	ジュニアスポーツ教室	毎週日曜日
	フットサル教室	毎週日曜日
	夏期ジュニアスポーツ教室	夏休み中で4～5回
おおやまだスポーツクラブ	ノルディックウォーキング体験会	5/22, 10/16
	親子カヌー体験会	7/3, 17, 8/7, 21
	バドミントン教室	第1・3土曜日
かんバススポーツクラブ	スローフィットネス教室	第2・4火曜日
特定非営利活動法人 伊賀フューチャーズクラブ	ノルディックウォーキング体験教室	7/7, 9/29, 11/17
一般社団法人 府中スポーツクラブ	ジュニア3B体操教室	毎週金曜日
	シニア・シルバー3B体操教室	毎週水曜日
	ジュニアバドミントン教室	毎週土曜日
	中学生以上バドミントン教室	第1・3金曜日

#### 【市民スポーツフェスティバルの再構築】

市民誰もが気楽に参加できる種目の検討を行い、カローリング競技を正式種目として追加しました。

#### スポフェス種目別参加数の推移

種目/年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28
卓球(団体)	113	112	104	97	91	78	93	76	71
(個人)	79	73	86	71	83	88	79	84	81
バレーボール	440	437	420	375	372	401	384	383	366
ソフトボール	518	527	483	474	475	423	422	413	392
ゲートボール	183	182	207	190	195	195	192	173	182
グラウンド・(男子)	331	343	355	336	355	361	329	322	344
ゴルフ(女子)	280	314	300	295	324	322	302	291	289
綱引(混合)	119	117	90	78	64				
(小学生)	113	66	46	49	70				
ターゲット・(団体)		34	45	49	45	61	61	46	37
バードゴルフ(個人)	76	43	36	37	30	35	36	24	27

カローリング		61	74	124	118	135	141	135	129
合計	2,252	2,309	2,246	2,175	2,222	2,099	2,039	1,947	1,918

【ニュースポーツ種目の普及・振興】

スポーツ推進委員協議会及び伊賀市レクリエーション協会において、ニュースポーツ種目の普及・振興を行いました。

ニュースポーツ種目の普及種目

団体名等	普及種目
スポーツ推進委員	ヘルスバレーボール、アジャタ
連絡協議会	ノルデックウォーキング、キンボール
伊賀市レクリエーション協会	キンボール、3B体操、ラダゲッターユニカール、カローリング、ペタンク

【高齢者や障がいのある人向けのプログラムの充実】

「スポーツ基本法」では、「年齢や性別、障がいを問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備することを基本的な政策課題としています。地域の実情に即したスポーツ推進計画を定め、誰もが、それぞれの体力や年齢、障がいの有無に関わらず、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションを推進する必要があります。スポーツを「する人」を増やすことが大切であることから、~~一だれもが参加できる競技として市民スポーツフェスティバルにカローリング競技を追加し実施しています。があります。~~今後新種目の追加の検討が急務であり、スポーツ推進委員協議会とレクリエーション協会が連携して検討を行っています。また、スポーツ推進委員は、障害者福祉連盟イベントにボランティアスタッフとして参加研修をし、自己スキルの充実に努めています。レクリエーション協会は、福祉レクリエーションスポーツとして、ラダゲッターやポッチャ教室等を開催しました。

【講座やイベント等への参加時における託児体制の整備】

設置要望等はなく未設置。に至りませんでした。

【スポーツ安全保険への加入促進】

広報いが市において周知し、加入要項・申込書等はスポーツ施設等に配置しています。

■ スポーツを通じた交流の促進

【民間主導によるスポーツ大会やイベントへの支援】

伊賀フットボールクラブくノーフアンクラブの設立を行い、ポスター掲示、スポーツ施設へのチラシの配布や配置、クラブ応援を通じて市民の一体感の醸成に努めました。

【~~駅伝マラソン大会等への支援を通じた交流~~



~~実行委員会を形成し運営負担金、委託金、補助金として支援しましたが、行政が事務局を担っており、自立運営に向けての実行委員の立場や意識改革等が検討課題となっています。駅伝大会は、参加対象を伊賀地区とし名張市との交流を促進してきました。またマラソン大会事業は、全国からマラソン愛好者が集まり交流の場となっています。~~

【~~市民スポーツフェスティバルの再構築~~】

~~参加を促すプログラム及びイベントの充実で掲載しています。~~

【伊賀フットボールクラブくノーを中心とした女子サッカー大会の開催】

忍びの里レディーストーナメントとして女子サッカー大会の開催を行いました。

忍びの里レディーストーナメント参加チームの推移

年度	参加チーム	伊賀 FC くノーの順位
平成 19 年度	12	2 位
平成 20 年度	12	4 位
平成 21 年度	8	4 位
平成 22 年度	8	1 位
平成 23 年度	8	3 位
平成 24 年度	中止	
平成 25 年度	8	2 位
平成 26 年度	4	1 位
平成 27 年度	4	3 位
平成 28 年度	3	2 位

【在住外国人との交流イベントの開催】

在住外国人との交流イベントは未開催。しませんでした。スポーツを通じた交流は、地域の一体感や活力の醸成、人間関係の希薄化などを抱える地域社会の再生につながります。スポーツの国際交流は、世界の人々との相

書式変更：インデント：左 6.07 字、  
最初の行：1.18 字

の促進】

~~互理解を促進し、国際的な友好や親善に貢献することから、伊賀市スポーツ少年団では日独交流を通してスポーツに「ふれあう」人を増やしました。~~

☆日独スポーツ少年団同時交流事業

受入事業として、平成 23 年 7 月（9 名）、26 年 7 月（10 名）にホストファミリーの募集によるホームステイ、団員等との国際交流事業を開催し、派遣事業では、平成 19 年 7 月（2 名）、21 年（1 名）、23 年（1 名）、27 年（1 名）を派遣しています。

■ 健康づくりの推進

~~【スポーツ相談窓口の開設】~~

~~【広報紙等を通じた健康づくり情報の提供】~~

【忍にん体操の普及促進】

所管課は健康推進課で、忍にん体操普及会が中心となり、近県において講習会を開催するなど普及に尽力されています。平成 27 年には、全国向けテレビ番組で取り上げられ、足腰の機能維持に特に有効であると紹介されたことから、全国的に認知されるようになりました。

スポーツ推進委員協議会では、平成 28 年度に市内で開催した県スポーツ推進委員研究大会および、志摩市で開催した東海四県スポーツ推進委員研究大会において講習会を行いました。



~~普及のお手伝いをしました。~~  
~~また各種大会の準備体操に忍にん体操を行い普及のお手伝いをしています。~~

【1日1回の体操の時間の設定】

1日1回の体操の時間は未設定。~~していません。~~

② 児童・生徒のスポーツ活動の充実

~~学校教育課が所管しており回答をいただきました。~~ 学校教育課所管事業

■ 体育連盟への支援

【小学校体育連盟及び中学校体育連盟への支援】

小学校体育連盟は組織がなく、中学校体育連盟へは生徒の健全な心や体力の増進及びスポーツの振興、競技力の向上を図ることから委託金として、その活動を支援しています。~~また、伊賀市体育協会では強化を目的とした活動を支援しています。~~

## ■ 学校体育の充実

### 【体力づくりマラソン大会の実施】

小学校21校中17校、中学校10校中3校で開催しています。

### 【連帯づくり体育大会の開催】

各学校ともに開催しています。

### 【生徒の特性や習熟に応じた選択授業の実施】

#### ☆幼稚園との連携

発達段階に応じた体力の発達が大切であり、その中で取り組んでいる「からだそだて事業」は、就学前における課題を明らかにし、その改善を図る保幼小のカリキュラムを系統的にとらえ直すことができます。平成26年度より、幼稚園ではスポーツテストを実施しています。投げることや受けることが課題のひとつでした。あまり経験していないということも原因のひとつと考えられ、昨年度より幼稚園では、1日1時間程度、外遊びをすることを目標にし、からだづくりに取り組んでいます。また「からだそだて事業」の取り組みと連携を図り、幼児期に習得しておくことが望ましく基本的な動作や運動習慣を身につけさせたいと考えています。就学前の取り組みを小学校につなげ、子どものからだづくり、体力向上を目指しています。

#### ☆小中学校での取組

小中学校での全国体力・運動能力調査の結果をみると、伊賀市の子どもたちは、全国と比べると下回っています。「運動が好きな児童生徒」は多く、「今後、自主的に運動したい児童生徒」についても全国平均を上回っています。日々の体育の授業の中で、先生方が大事に取り組んできた成果であり、次のことについて、さらに取り組みました。

#### ①目標設定

- ・「体力向上」のための学年の目標設定
- ・「体力向上」のための学校全体としての目標設定

#### ②体育授業の工夫・改善

- ・指導方法等の工夫・改善
- ・体育の授業の冒頭で、その授業の目標を児童生徒に示す
- ・体育の授業で、児童生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れる

#### ③体育授業外の取組

- ・体育の授業以外で、学年や全校に対して、児童の「体力

向上」に係る取組（1学校1運動）

- ・子どもたちの運動時間を確保する取組
- ・地域のスポーツクラブへの参加など、子どもの学校教育外での運動実施の状況の把握

④生活習慣

- ・健康の三原則（運動・栄養・睡眠）の大切さを子どもに伝える
- ・生活習慣を改善する取組

⑤家庭連携

家庭に対して、子どもの体力向上に係る説明・呼びかけ等を行う

■ 学校運動部活動の充実

【スポーツクラブと連携した指導の実施】

総合型地域スポーツクラブゆめが丘クラブが友生小学校で放課後陸上教室を開催しています。

【複数校による合同練習の実施】

複数校による学校運動部合同練習 ~~をは実施。しています。~~

③ 高齢者・障がい者スポーツの振興

■ 高齢者・障がい者向けのプログラムの充実

【高齢者や障がいのある人向けのプログラムの充実】

【障がいの有無にかかわらずスポーツ大会の開催】

参加を促すプログラム及びイベントの充実で ~~前述。記述しています。~~

■ サポート体制の整備

【障がい者スポーツ指導員の組織化】

健康推進課、障がい福祉課、社会福祉協議会の窓口担当部署と密に情報交換する機会がほとんどなく、サポート体制 ~~は未整備。はできませんでした。~~

【既存施設のバリアフリー改修】

市民ニーズに応じた施設の整備で記述していますが、ユニバーサルデザインの施設整備、既存施設のバリアフリー化は、職員としての研修の機会から知識を得ています。

(3) 互いの力を高め合う競技スポーツの振興

① 指導体制の強化

■ 一貫指導体制の整備

【関係機関との情報共有体制の構築】

体育協会で強化選手指定しトップレベルの競技者を育成するための指導体制の充実に努めました。

体育協会強化指定選手（団体）の推移

年度	選手（団体）数
平成 19 年度	33 人(6 団体)
平成 20 年度	42 人(9 団体)
平成 21 年度	50 人(5 団体)
平成 22 年度	51 人(9 団体)
平成 23 年度	49 人(12 団体)
平成 24 年度	45 人(17 団体)
平成 25 年度	57 人(10 団体)
平成 26 年度	60 人(7 団体)
平成 27 年度	60 人(8 団体)
平成 28 年度	91 人(8 団体)

■ 公認指導者等の派遣体制の整備

【伊賀市スポーツ指導者協議会の支援】

~~【指導者バンクの設立】~~

~~スポーツ指導者の確保で記述しています。~~

■ 学校やスポーツ団体等との連携強化

【学校運動部とスポーツクラブの連携】

総合型地域スポーツクラブ「ゆめが丘クラブ」が友生小学校で放課後陸上教室を開催しています。他のスポーツクラブにも学校との連携を打診していきます。

② 高い技術に触れる機会の充実

■ 競技大会や実技講習会の開催

【伊賀フットボールクラブくノーを中心とした女子サッカー大会の開催】

書式変更：インデント：左 6.06 字、  
最初の行：1.19 字



【全国レベルの競技大会の誘致】

~~【実技講習会の開催】~~

忍びの里レディーストーナメント（女子サッカー大会）の開催と、しらさぎ運動公園ゲートボール競技を中心に全国レベルの大会誘致を行いました。

【実技講習会の開催】

~~なお、実技講習会は未の開催。には至っていません。~~